

## 6/27 「生田緑地ゲンジボタル観察会」 実施報告

「生田を知ろう」 企画について	大学をとりまく地域は、自然環境と社会環境を学生が学ぶ場として、かけがえのないものである。そこで、生田キャンパスの周辺の多摩丘陵や多摩川から学び、学んだものを周囲の学生に伝え、さらに市民に伝えていける学生を育て、地域をみつめる活動を展開していくことを本企画の目的とする。
タイトル	生田を知ろうシリーズⅠ 「生田緑地ゲンジボタル観察会」
対象者	明治大学 全キャンパスの 学生 および 教職員
主催	生田ボランティアセンター
企画	倉本宣（農学部／生田ボランティアセンター） 藤掛素子（生田ボランティアセンター）
案内	倉本宣（農学部／生田ボランティアセンター） 野呂恵子（農学部）
日時	2013年6月27日（木） 19:00-21:00
天候	曇り
場所	生田キャンパス正門 — 生田緑地 — 向ヶ丘遊園駅
参加者	27名 <hr/> 学生25名（農16名、政経3名、国日2名、理工2名、情コミ1名、法1名） 案内者2名
内容	生田緑地を歩き、暗くなるといつもとちがった自然がみえて（きこえて、におって）くるのを体験する。 日本のホタルについて知る。 ゲンジボタルを観察する。
準備品 注意点	配布資料 名札 生田緑地内ホタル観賞時は、さまざまな注意が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・光を発する物（スマートホン、携帯電話含む）の使用は厳禁</li> <li>・したがって、写真撮影は不可</li> <li>・虫よけスプレー等 防虫剤は使用できない</li> <li>・人の声による影響を考え、観察中の会話も必要最小限にとどめる</li> <li>・大勢の人がホタル観賞に訪れることに配慮し、1列で歩く</li> <li>・足下の状態が悪い場合があるので、履物に留意する</li> </ul>